# 森の声

作品 46

詩：江森國友

作曲：近藤浩平

作曲期間：1999 年 2 月 10 日～7 月 15 日
編成：メゾ・ソプラノ、ピアノ、ヴィオラ
演奏時間：約 7 分 30 秒

# Voice of the forest

## op.46

Verse by
Kunitomo EMORI

Composed by
Kohei KONDO

Mezzo Soprano, Piano, Viola

近藤浩平
Kohei KONDO
R5656m@aol.com
http://koheikondo.web.infoseek.co.jp/

詩　江森國友

## 森の声

1

山のいただきは
したしい日のひかりに
ともされる
桃色に　本は
こまかくなごんで
雲の切れ間を
青空で　むすぶ

2

本洩れ日のあいだを
雉子がはじる　雪と
枯れ草を　しだかせて
山と山のあいだを
水がうごく
くばみは　ぬれて
みず草がこばれる

3

あかい森から
うた声が　ひろがる
こまかく柔軟な
やがて粉雪は
森をしろくする

4

雪は　ほんとうに
訪ねるのである
おなじしたしさで
農婦の手にすくわれる
籾種の　ひとつ
ひとつと

5

ほとけたちは
水にうたれる
みずたち
水泡たち

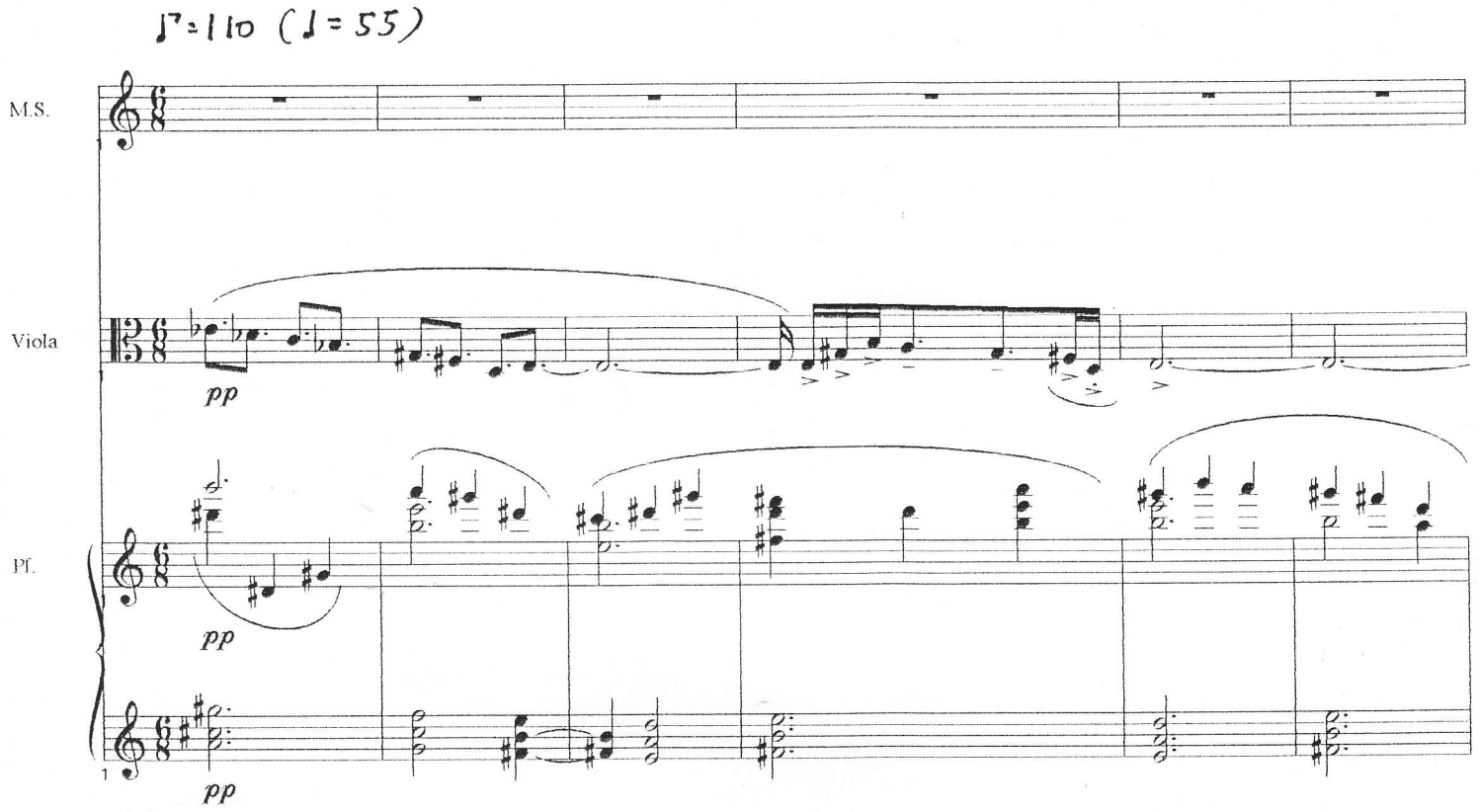
6

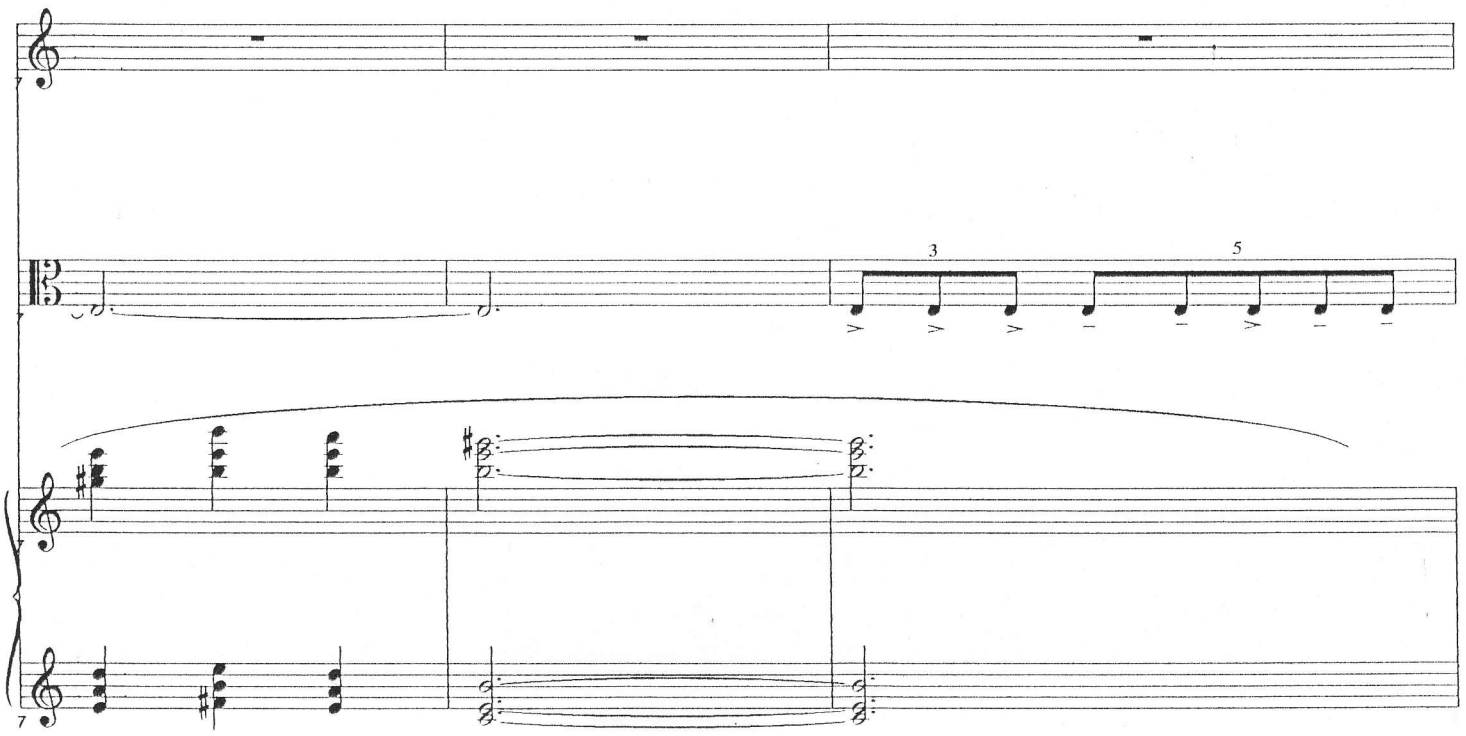
うすむらさきの森に
鳥はくちばしをはしらせる
よりそうと
しらかばは
三つの指で
くれていく空をつかむ

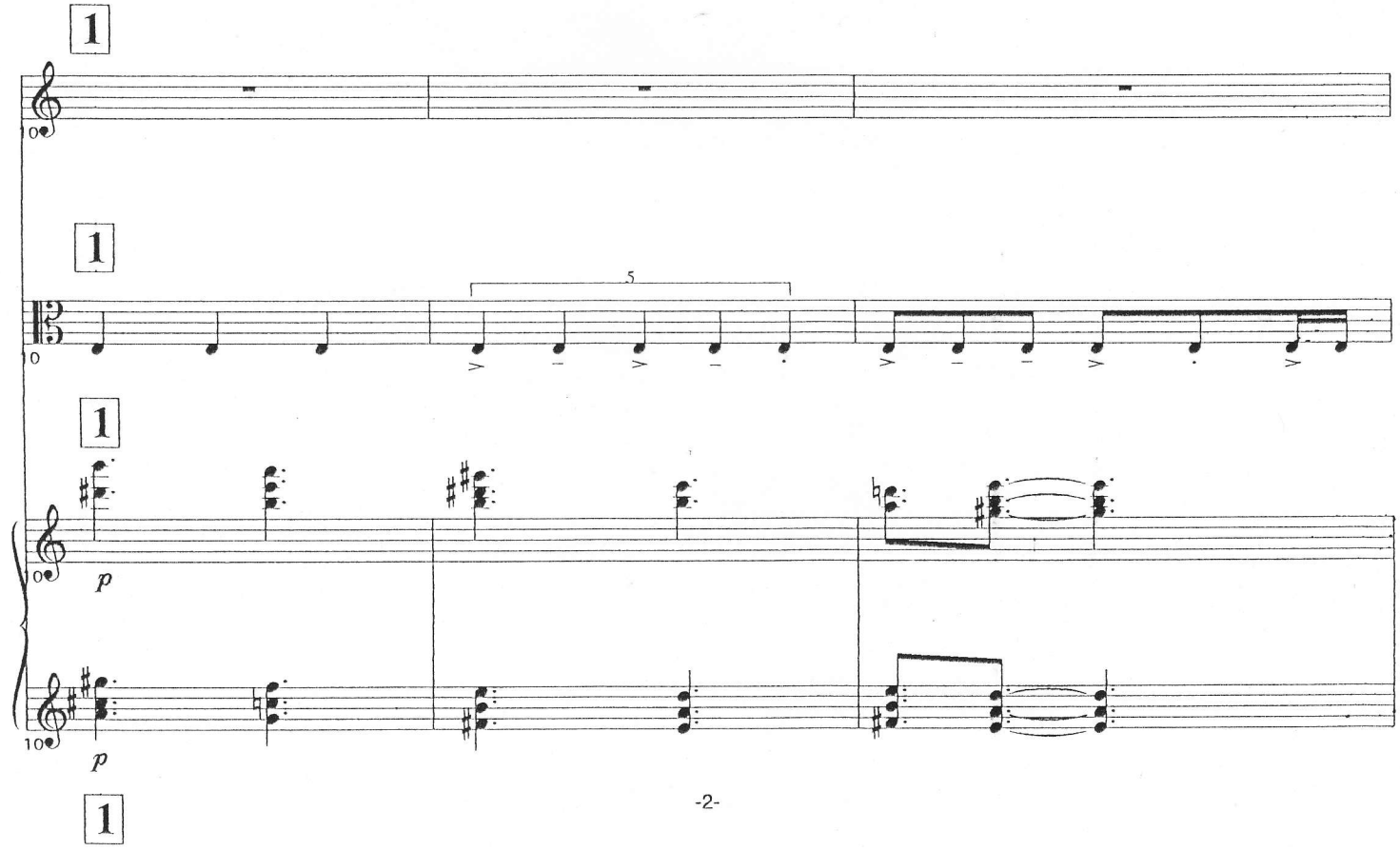
7

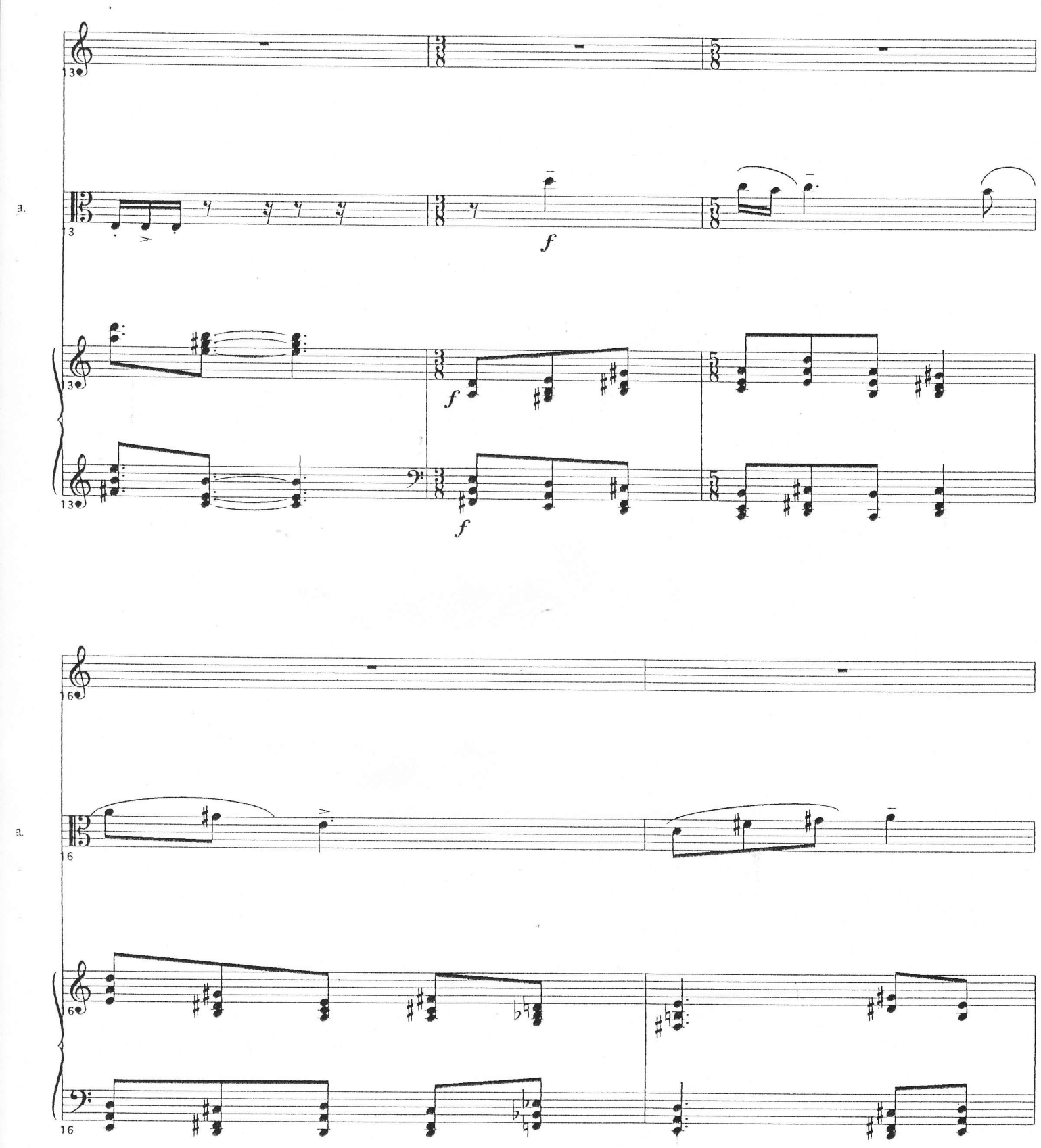
森は
もえるように
ねむる
羊がこつそり顔をだす
そのとき
羊は　かぞえきれない

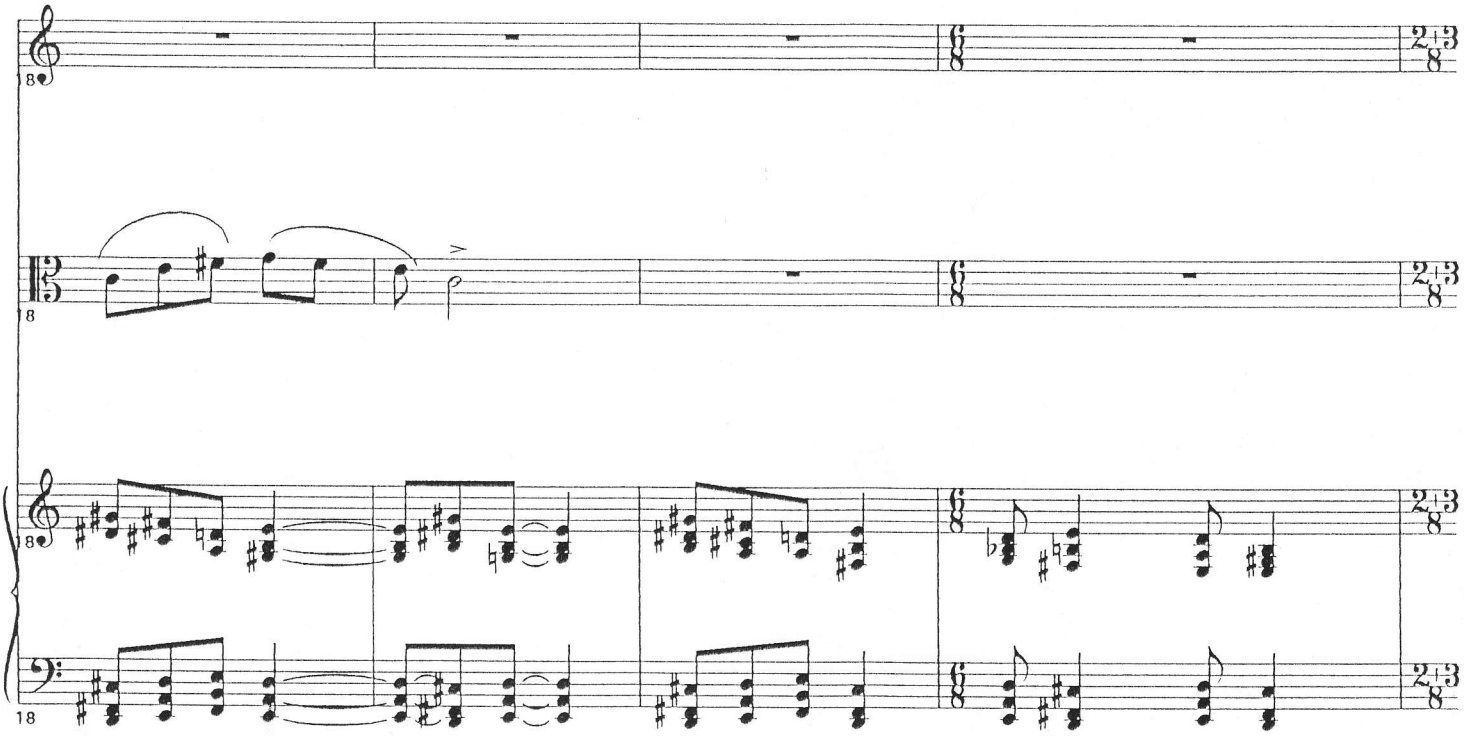
# Voice of the forest Op.46

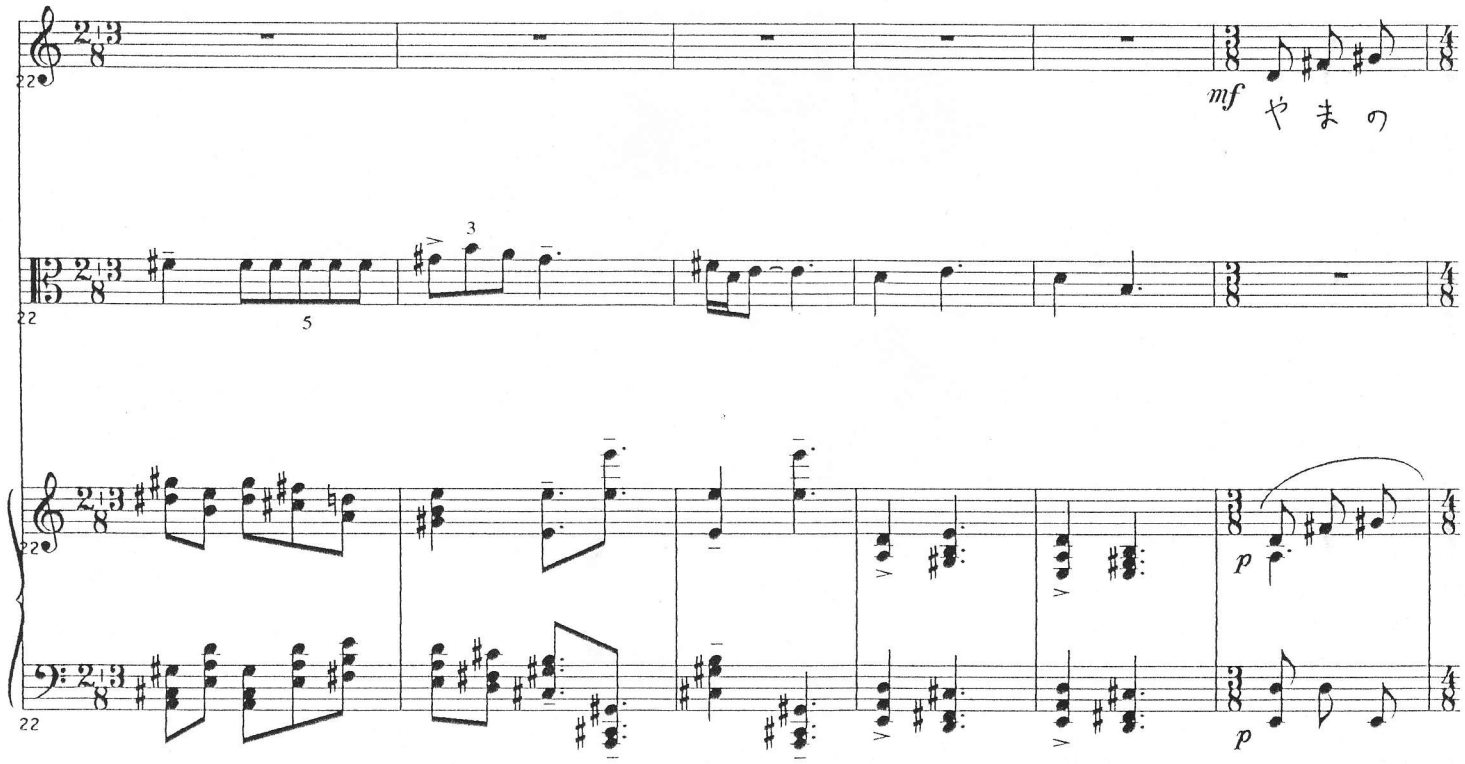


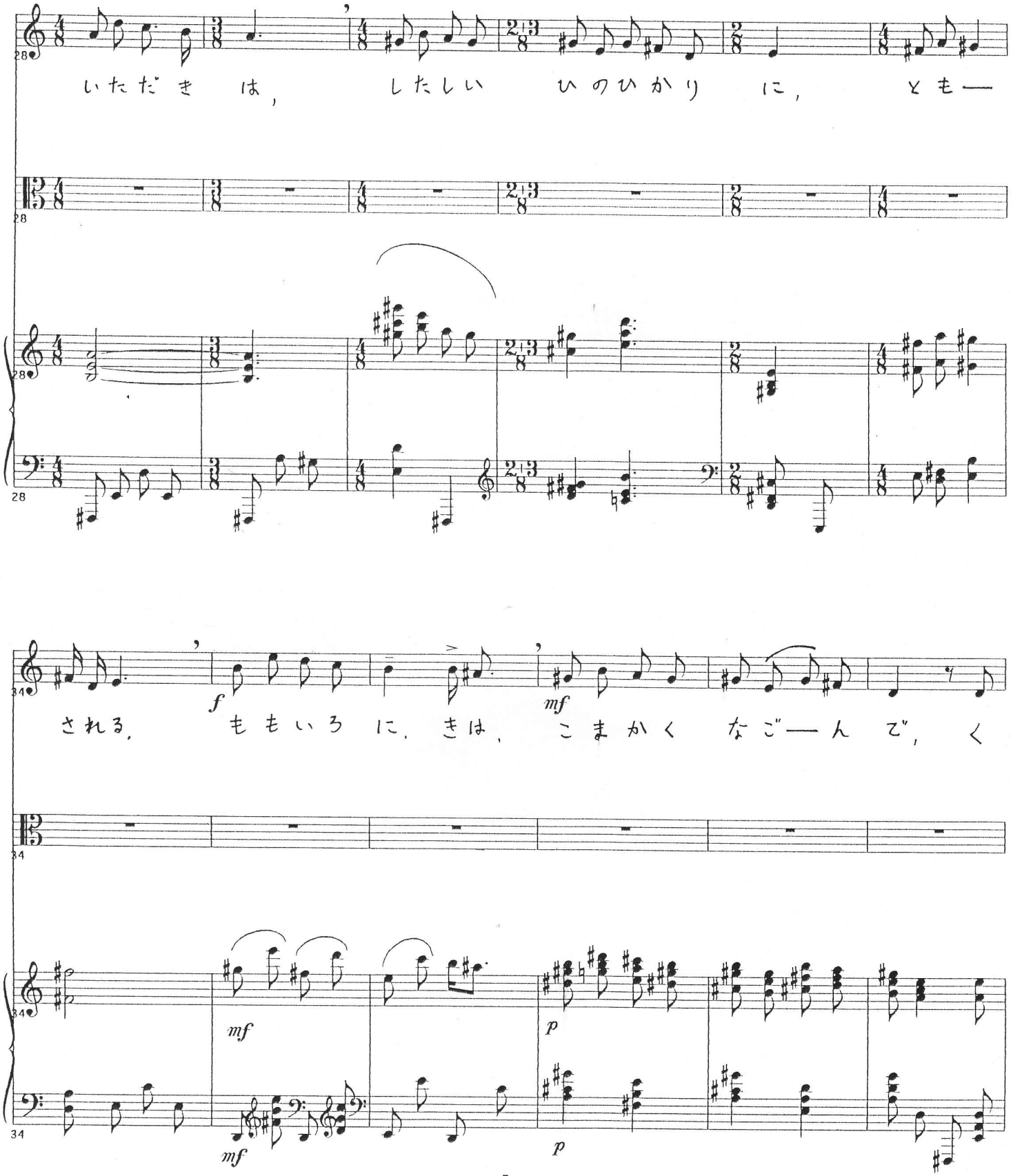

3
5
7


1
10
1
5
10
1
p
10
p
1


a.
f
f
f
a.




mf
やまの
p
p

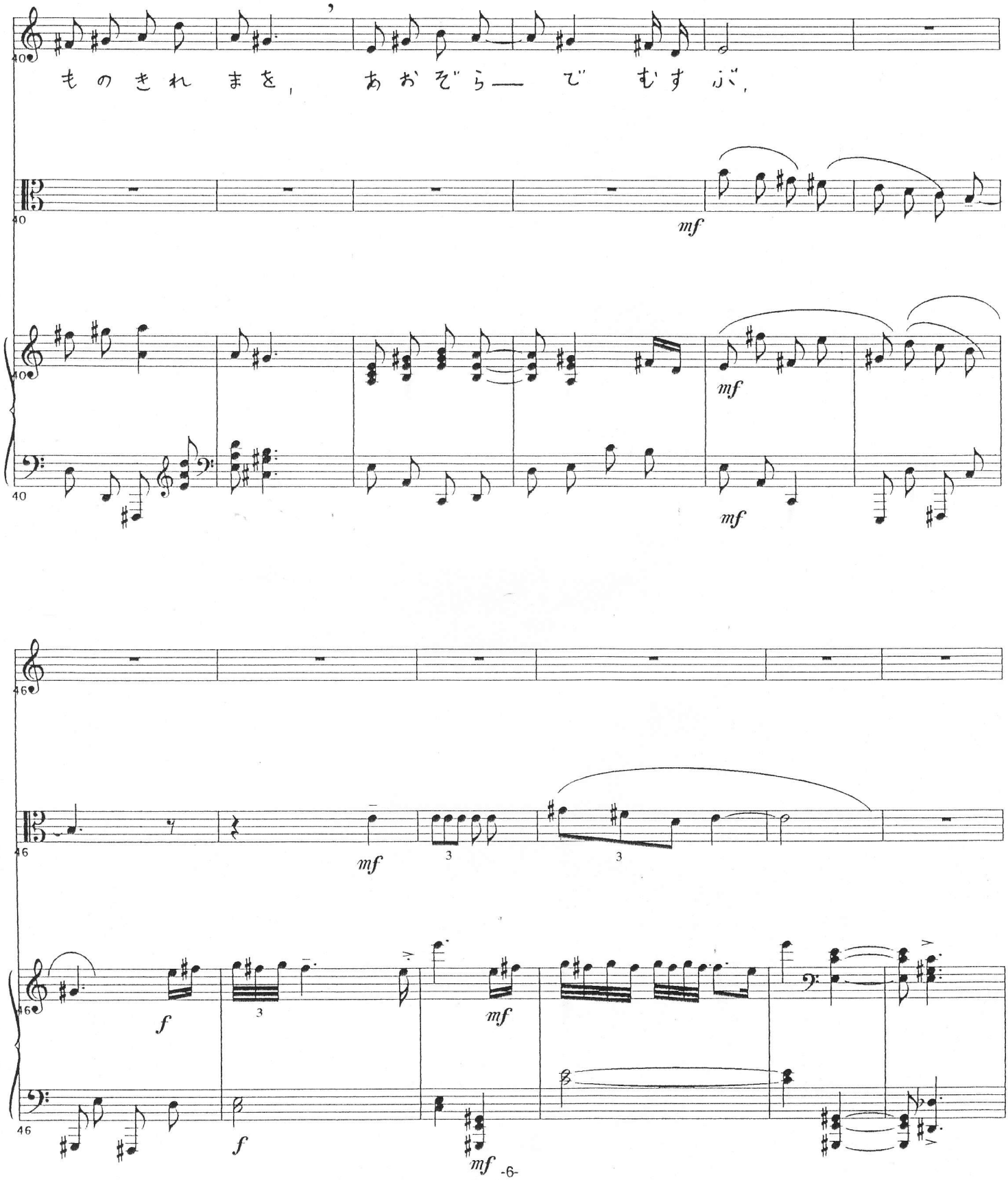


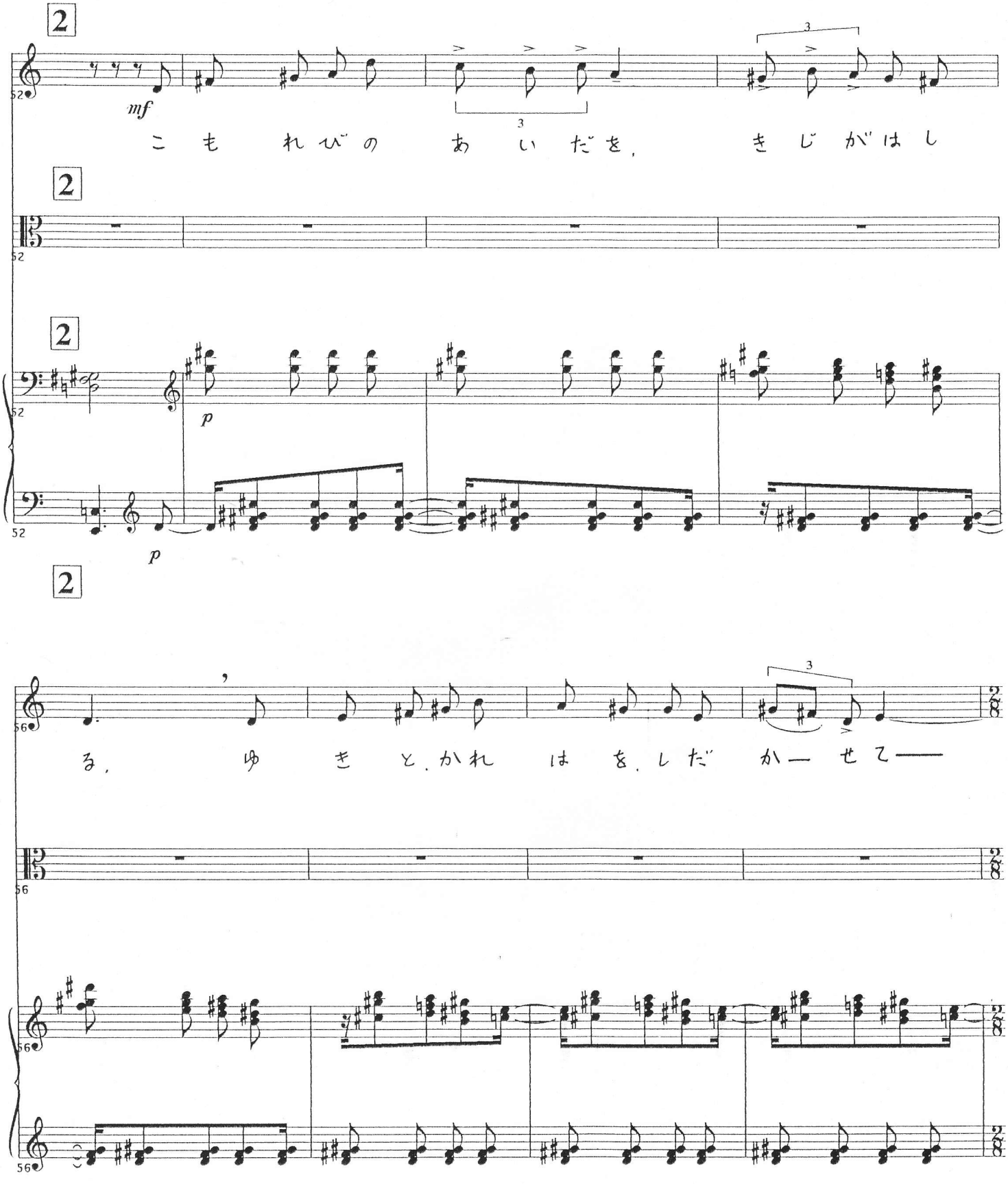
いただき は, したしい ひのひかり に, とも—

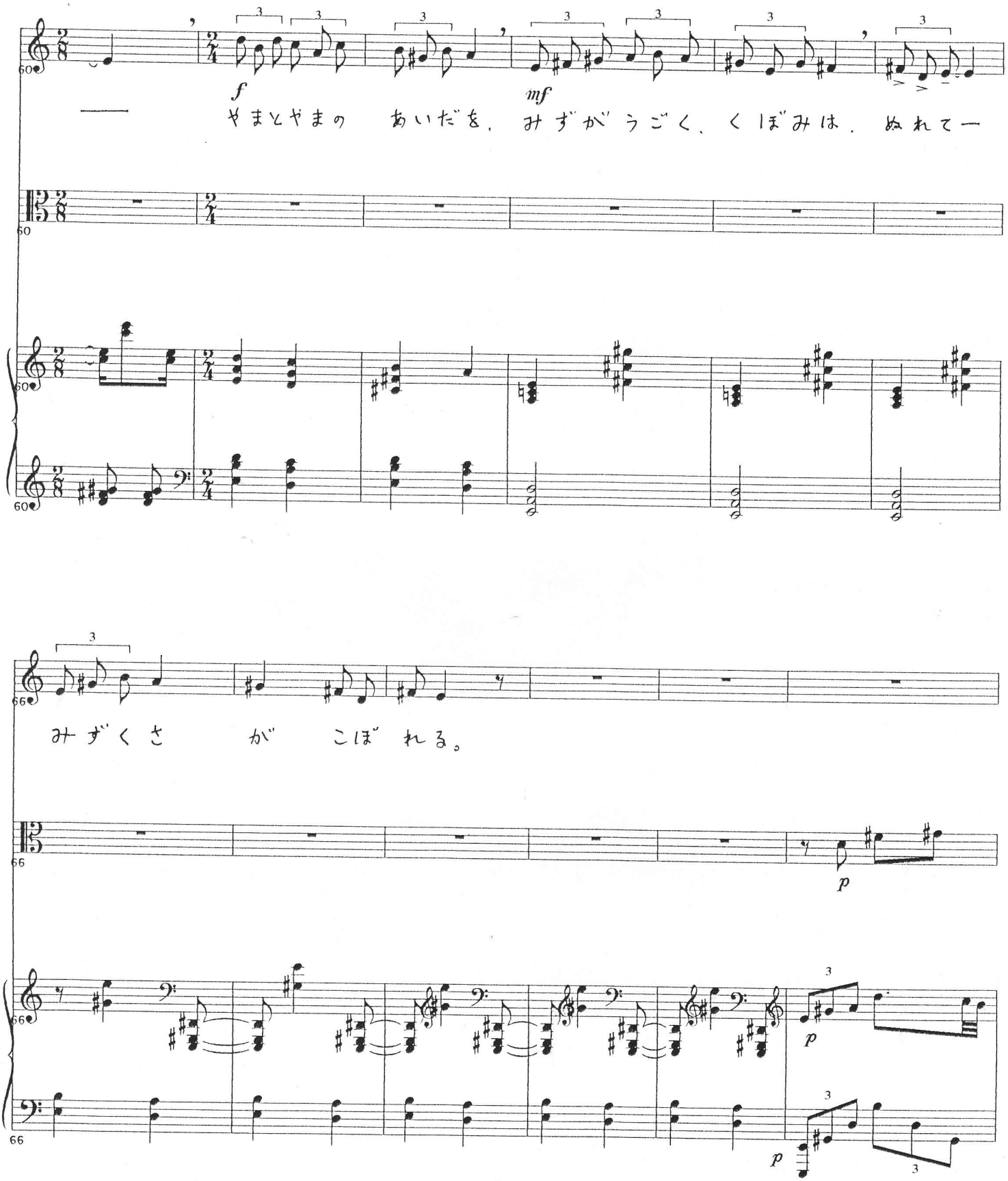
a.

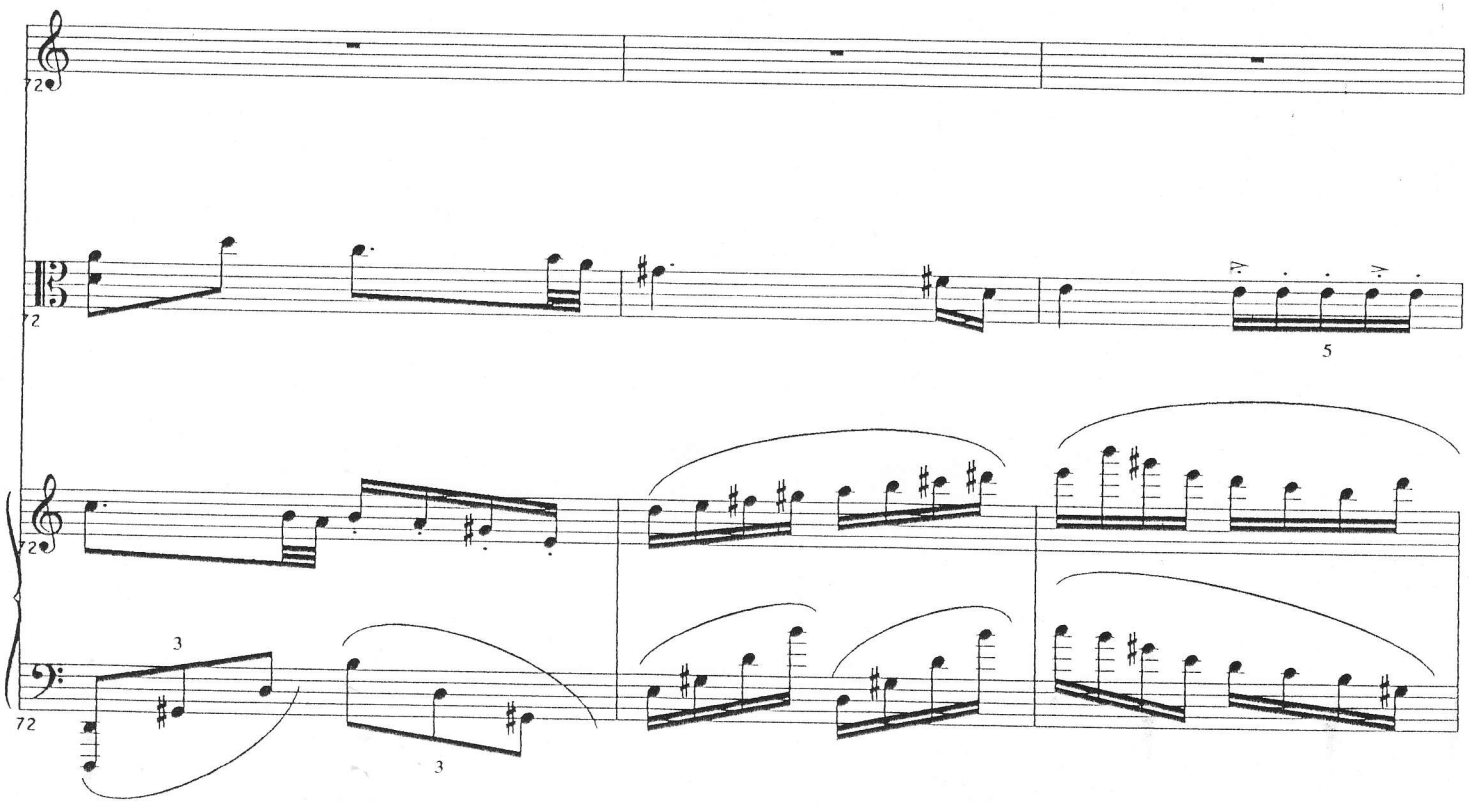
される, ももいろ に, きは, こまかく なご—ん で, く

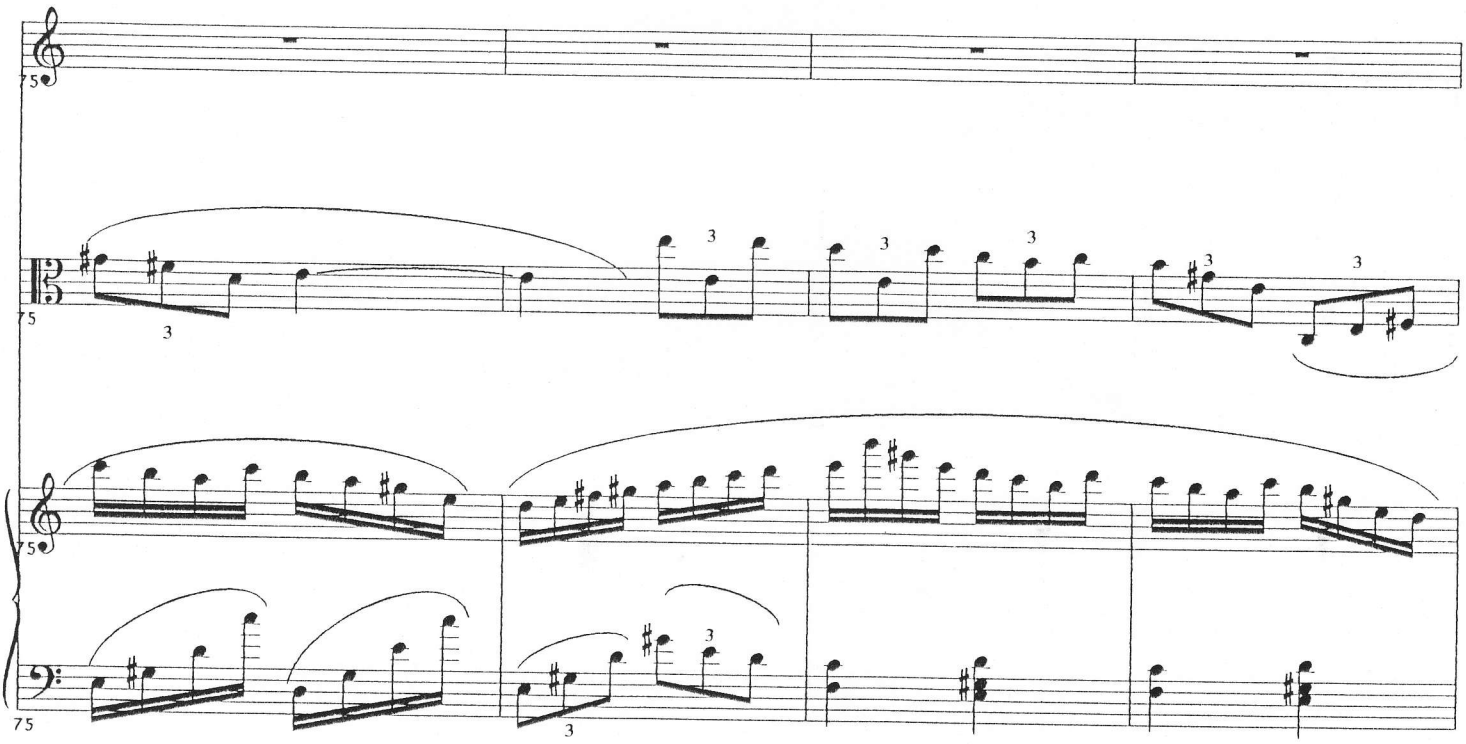
a.

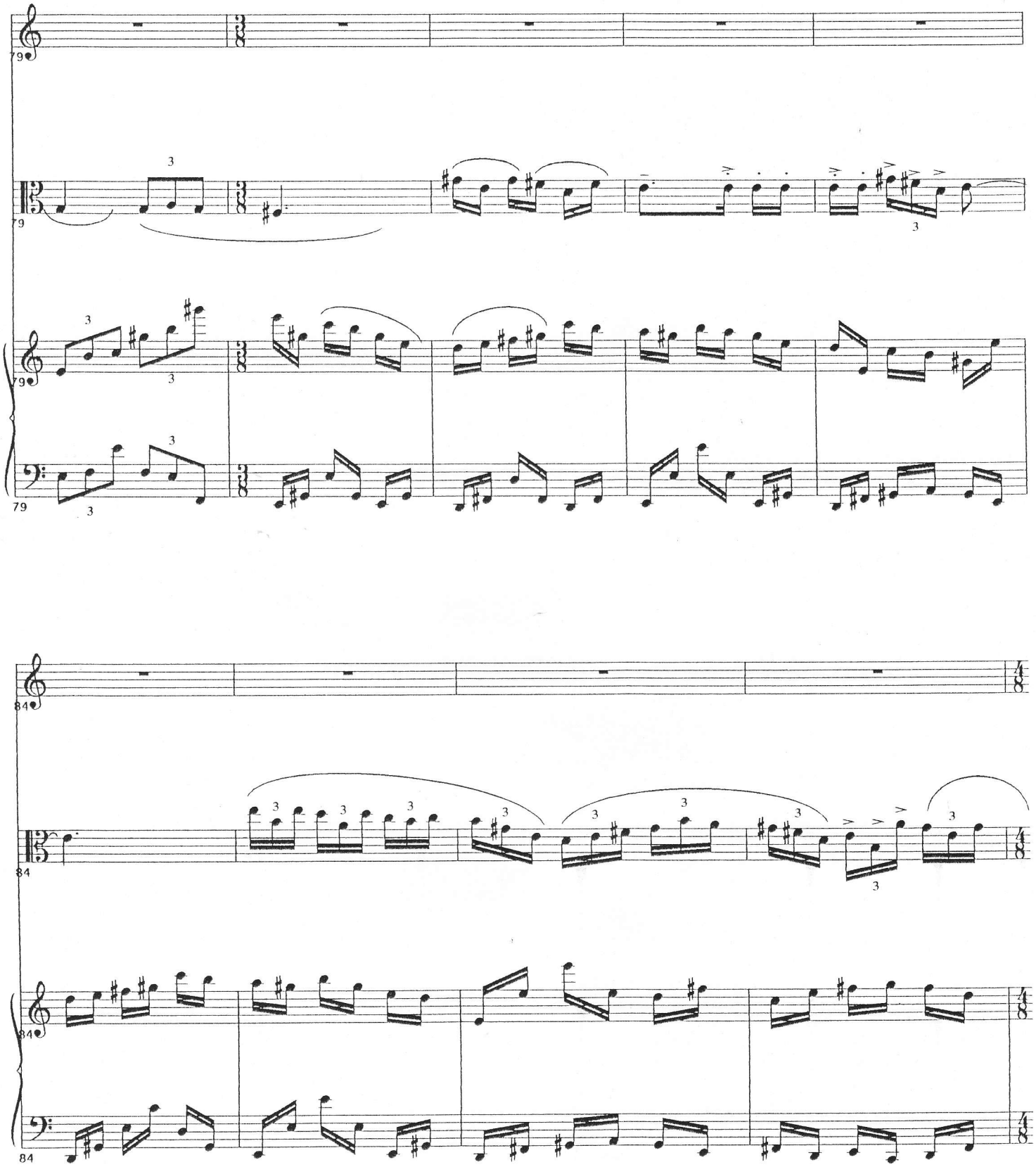

ものきれまを，あおぞら— でむすぶ，

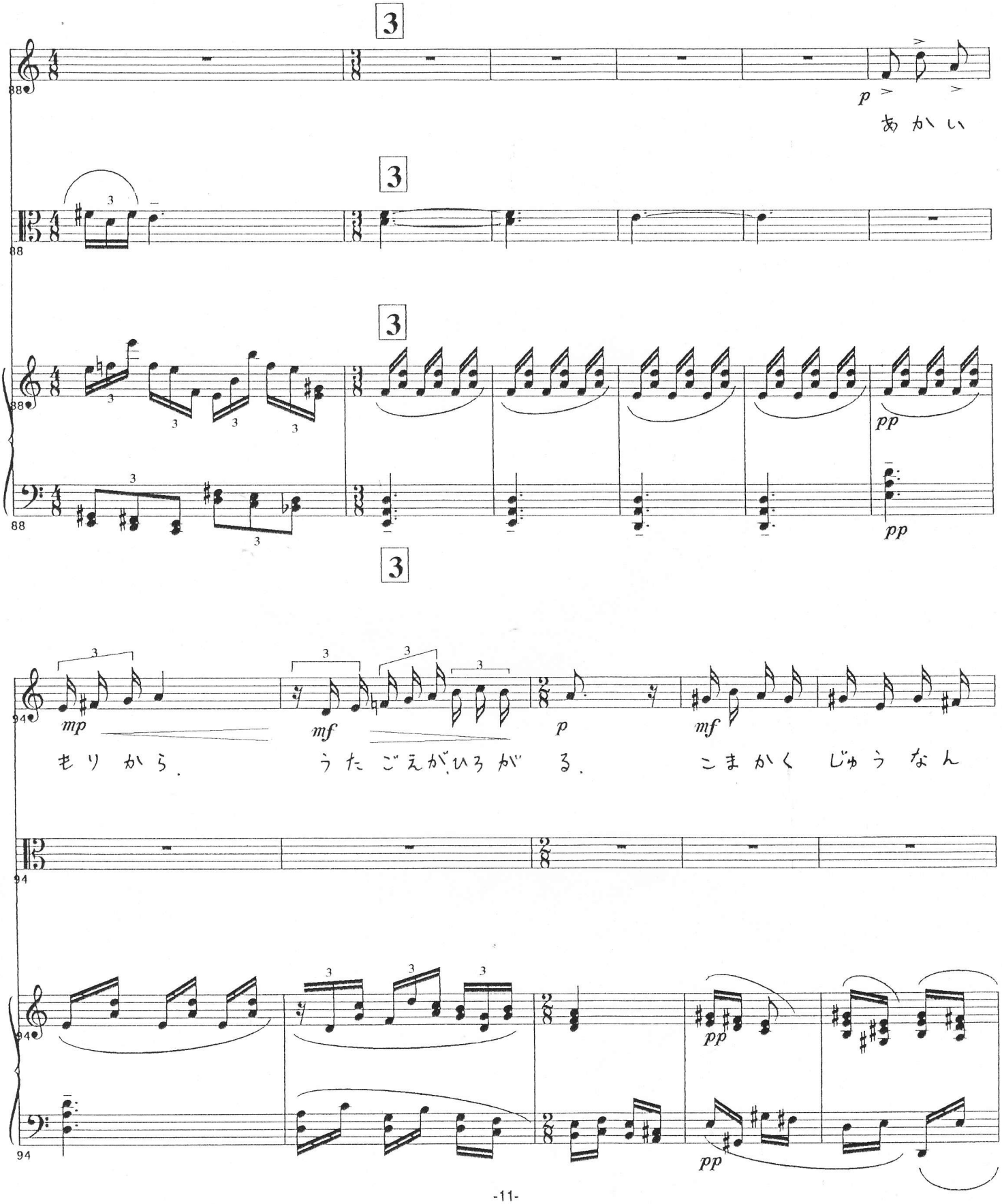

2
mf
こ も れびの あ い だを, き じがはし
2
2
p
p
2
る, ゆ き と.かれ は を.しだ か— せて——

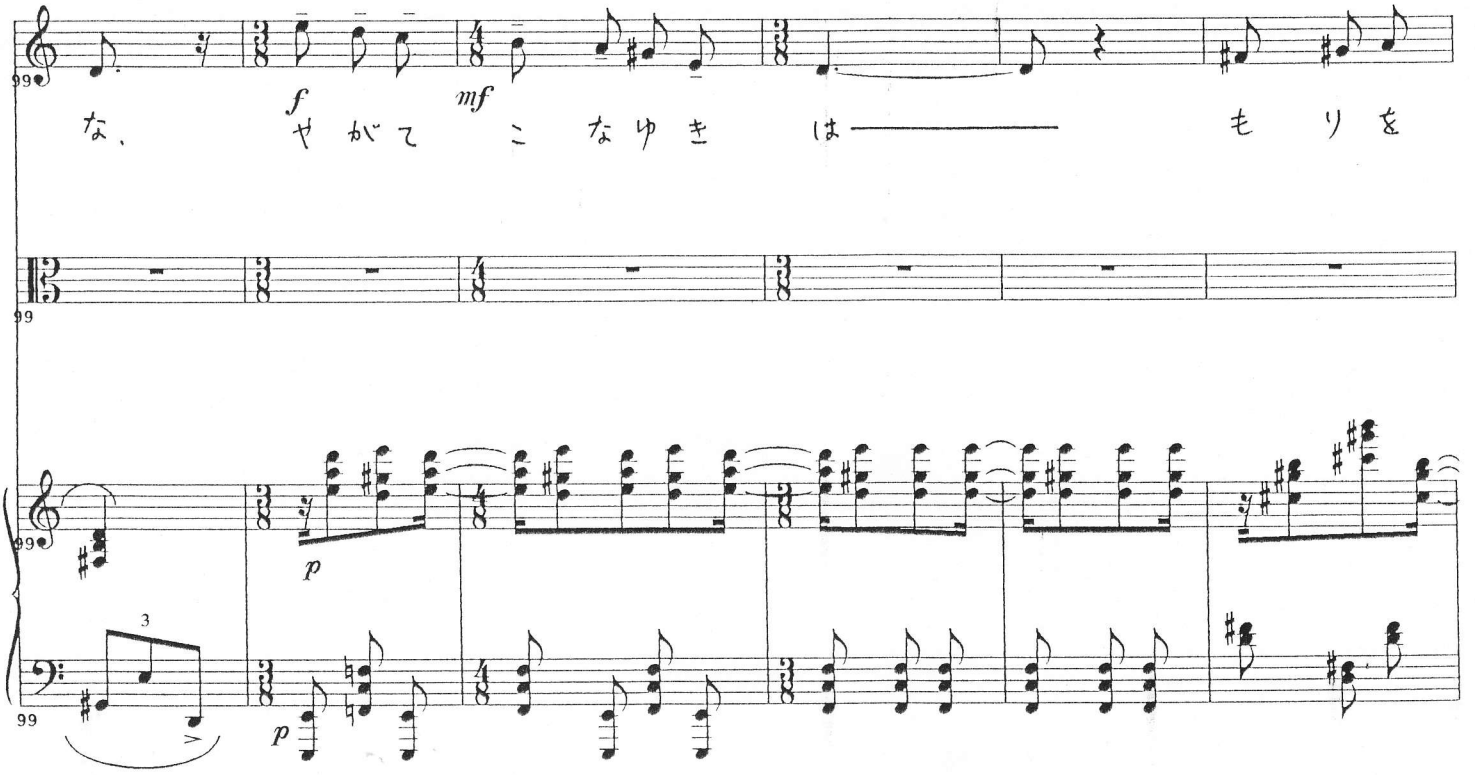

f
やまとやまの　あいだを、みずがうごく、くぼみは、ぬれてー
mf
みずくさ　が　こぼれる。
p
p
p

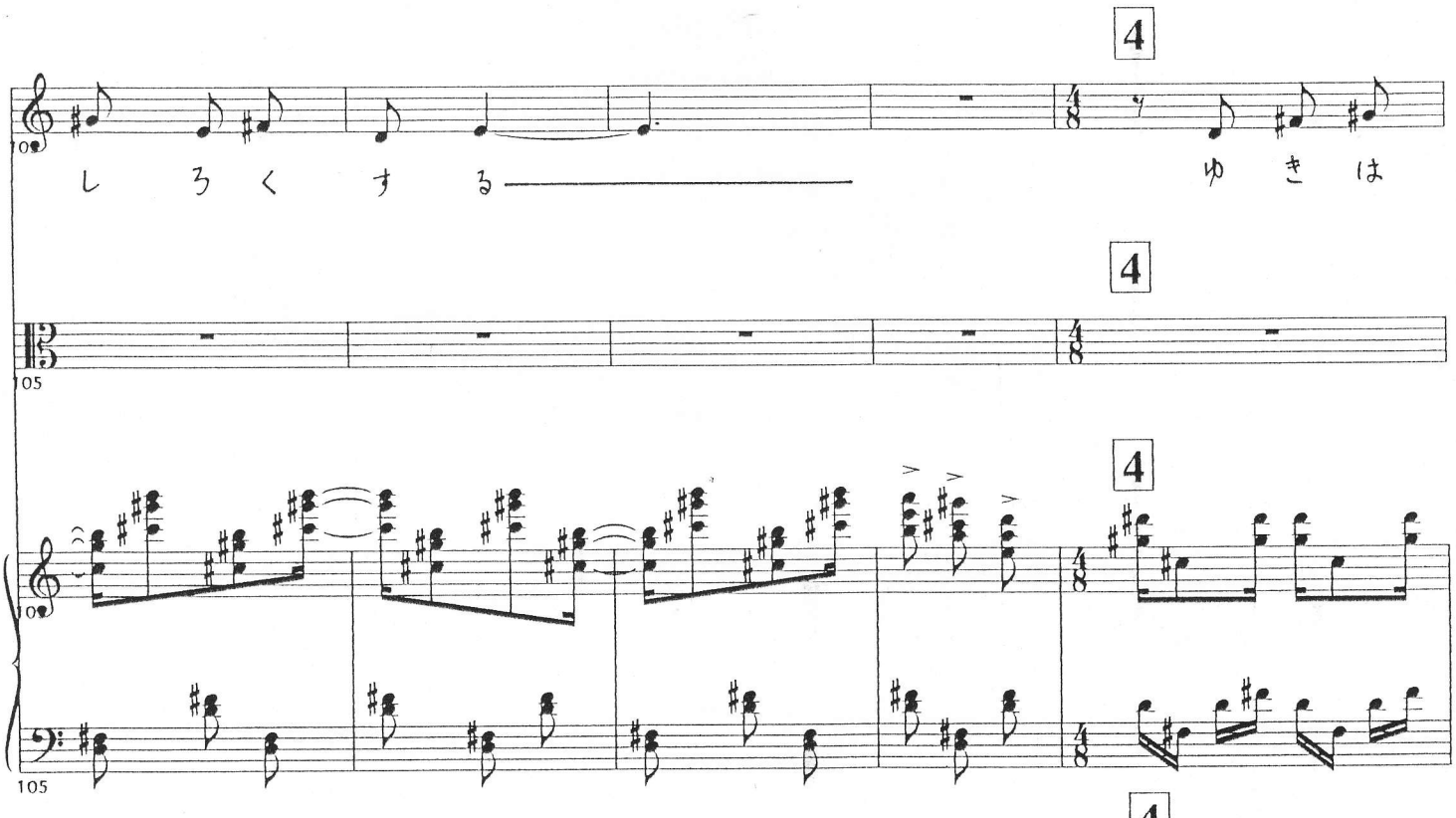

72
72
5
72
3
3
72


75
3
3
3
3
3
75
75
3
3
75


79
79
79
79
84
84
84
84

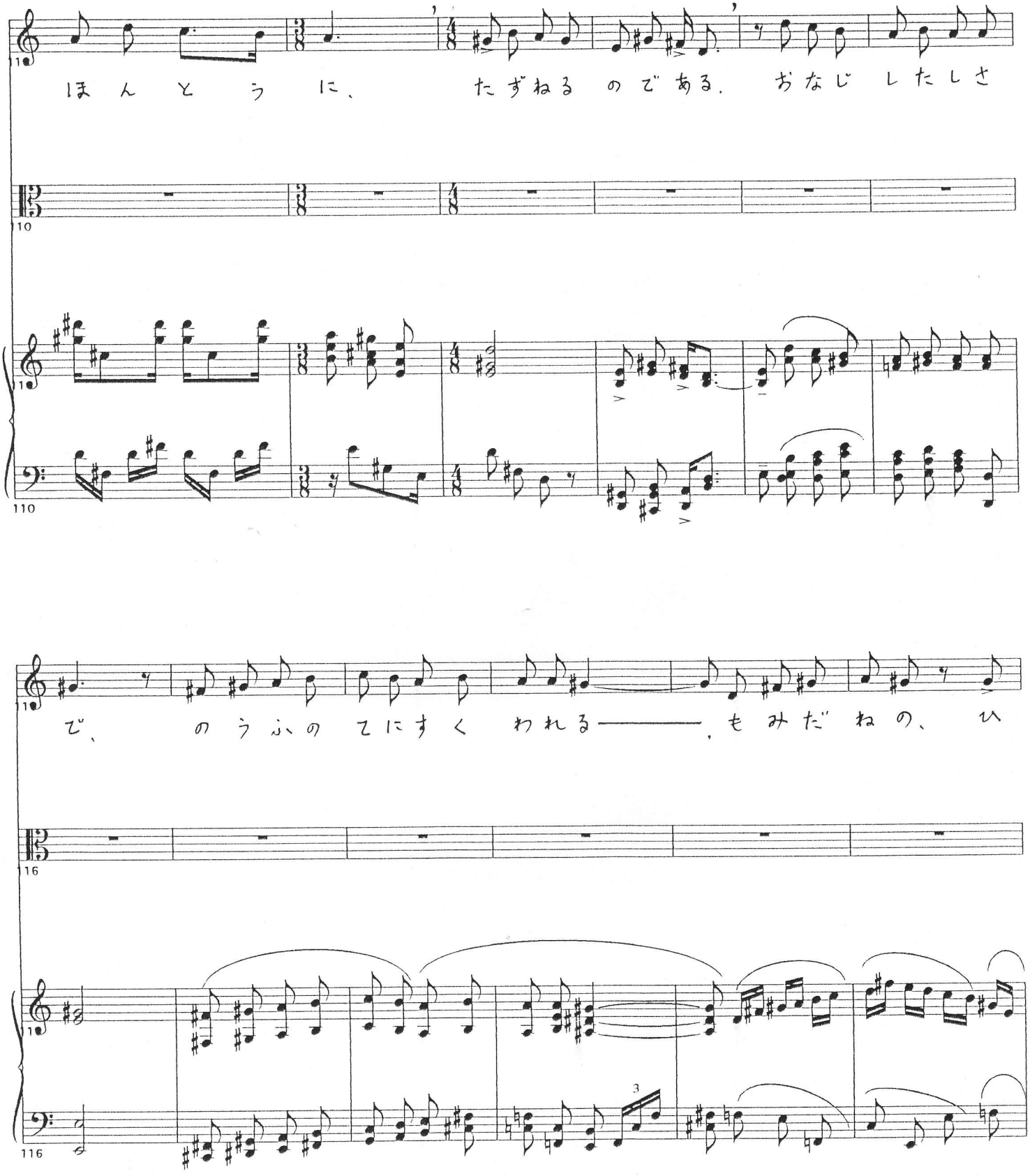

3
88
p
あ か い
3
88
3
88
pp
pp
3
94
mp
mf
p
mf
も り か ら.
う た ご え が ひ ろ が る.
こ ま か く じ ゅ う な ん
94
pp
pp
94

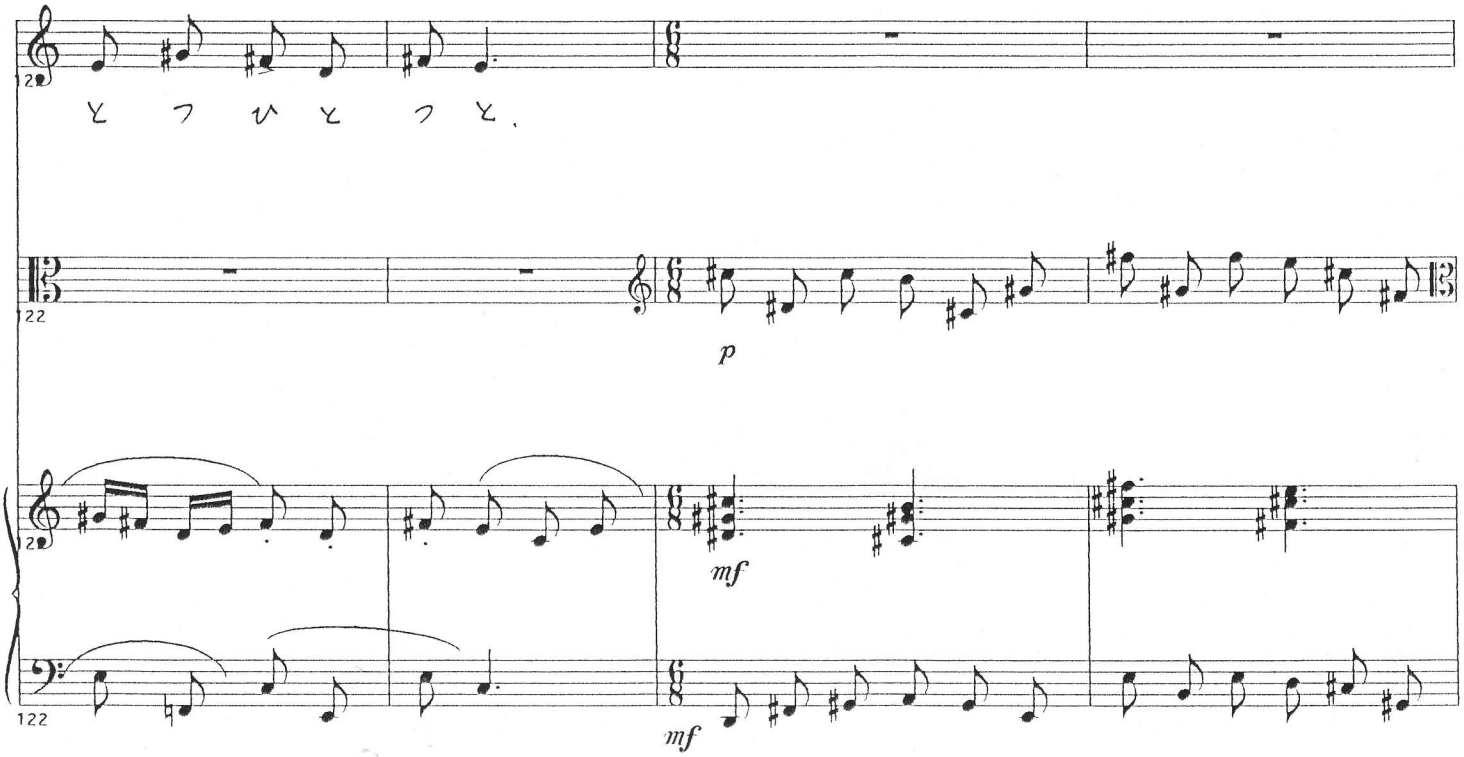


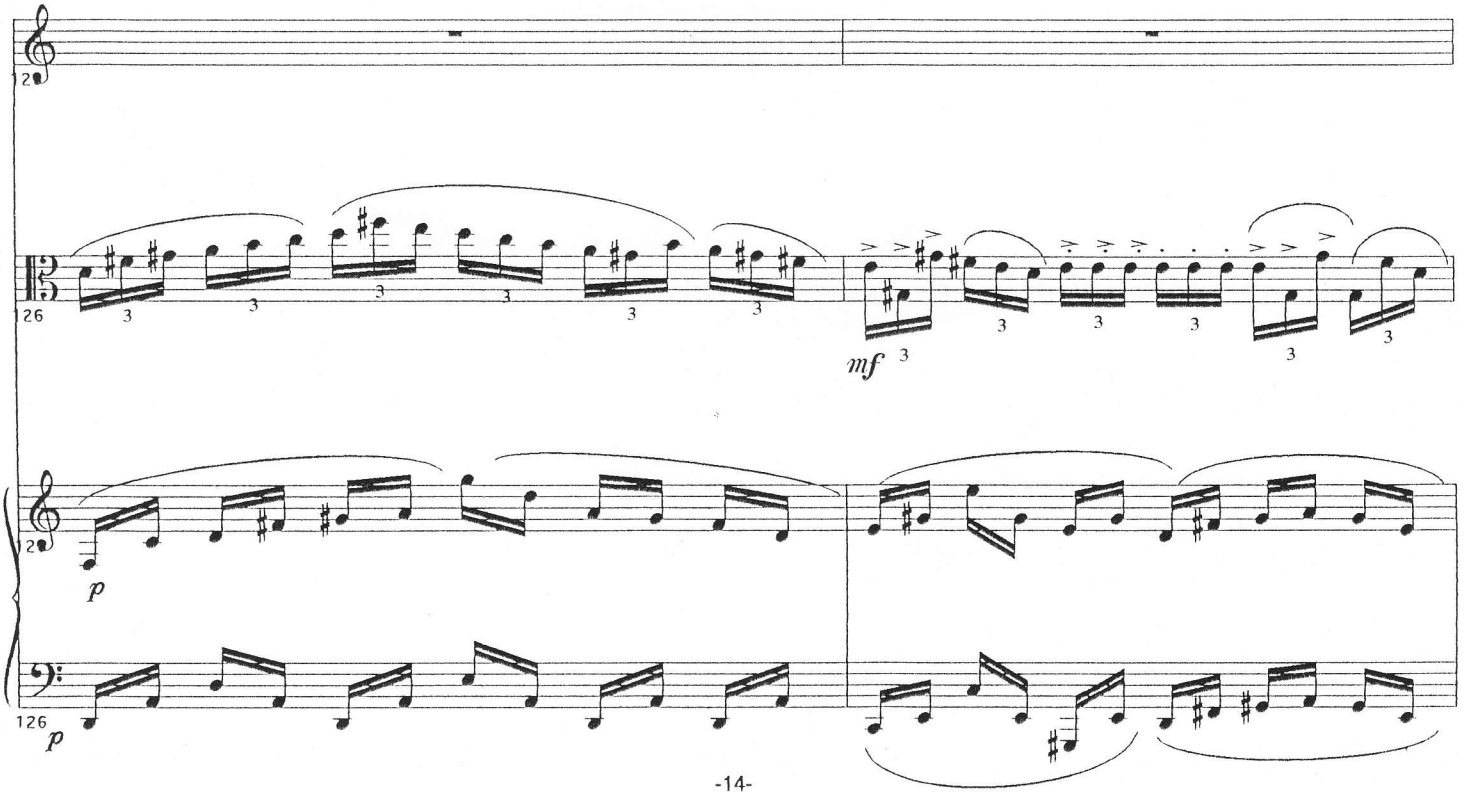


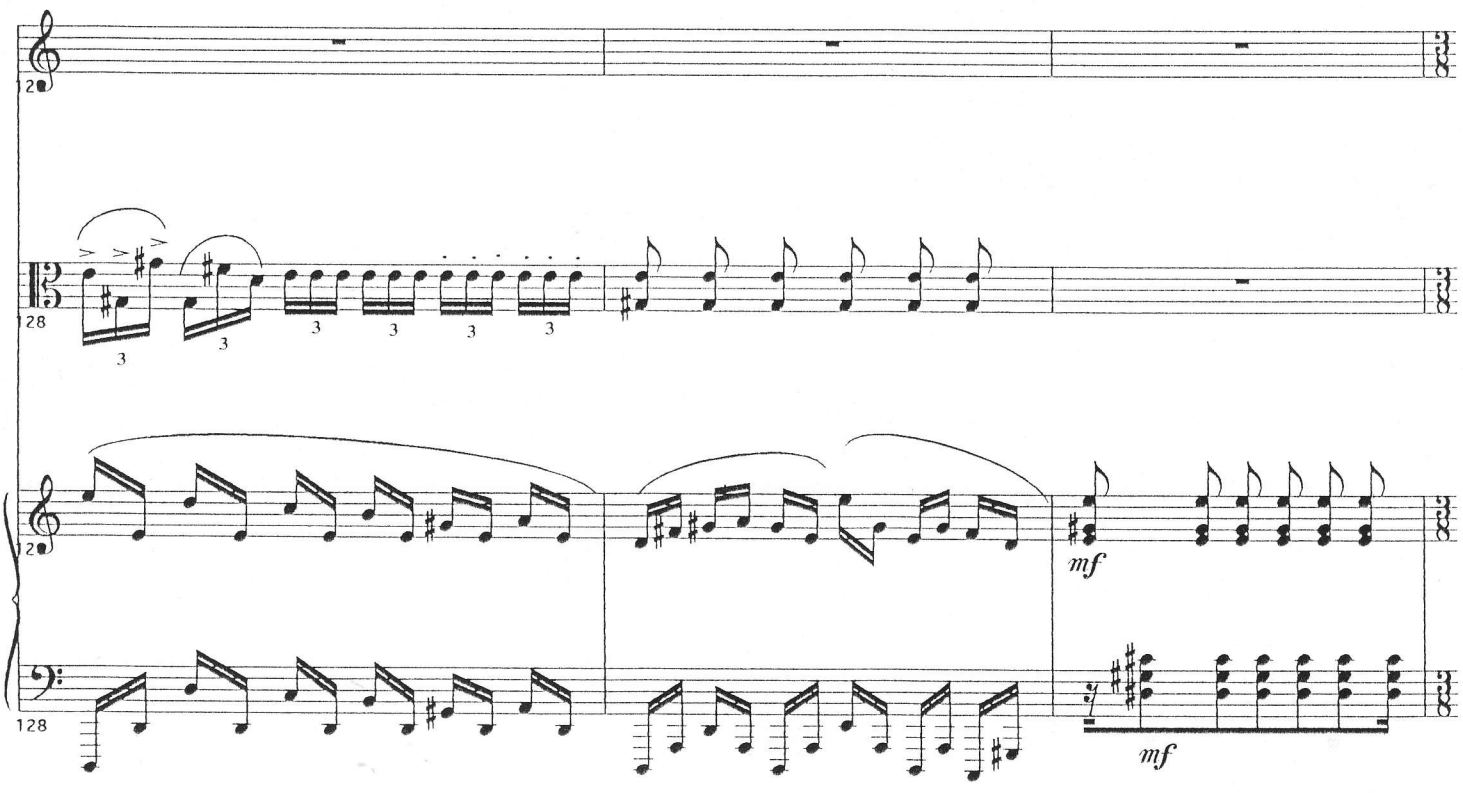
な、 やがて こなゆき は―――― もりを

しろくする―――― ゆきは

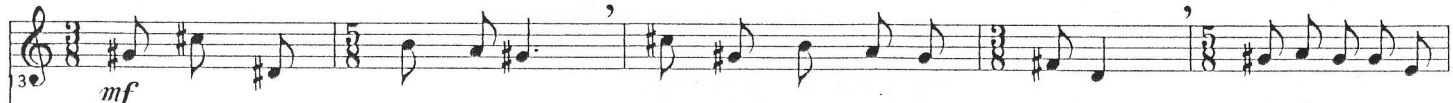

ほんとうに、
たずねるのである。
おなじしたしさ
で、
のうふのてにすくわれる――、
もみだねの、
ひ


122
p
mf
122
mf


126
3
mf
3
p
126
p

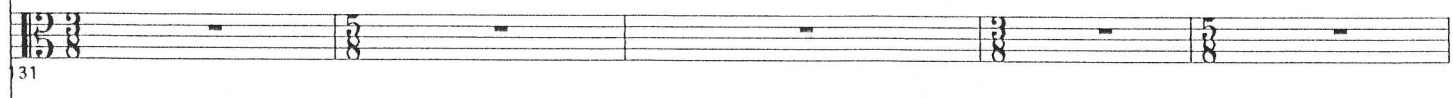



5

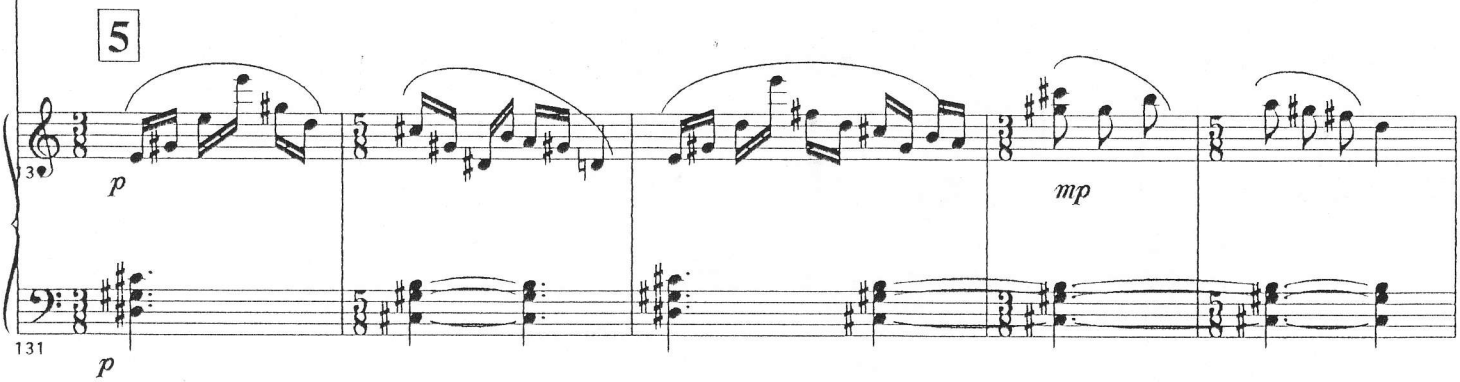



ほ と け た ち は、 み ず に う た れ る、 み ずにうた

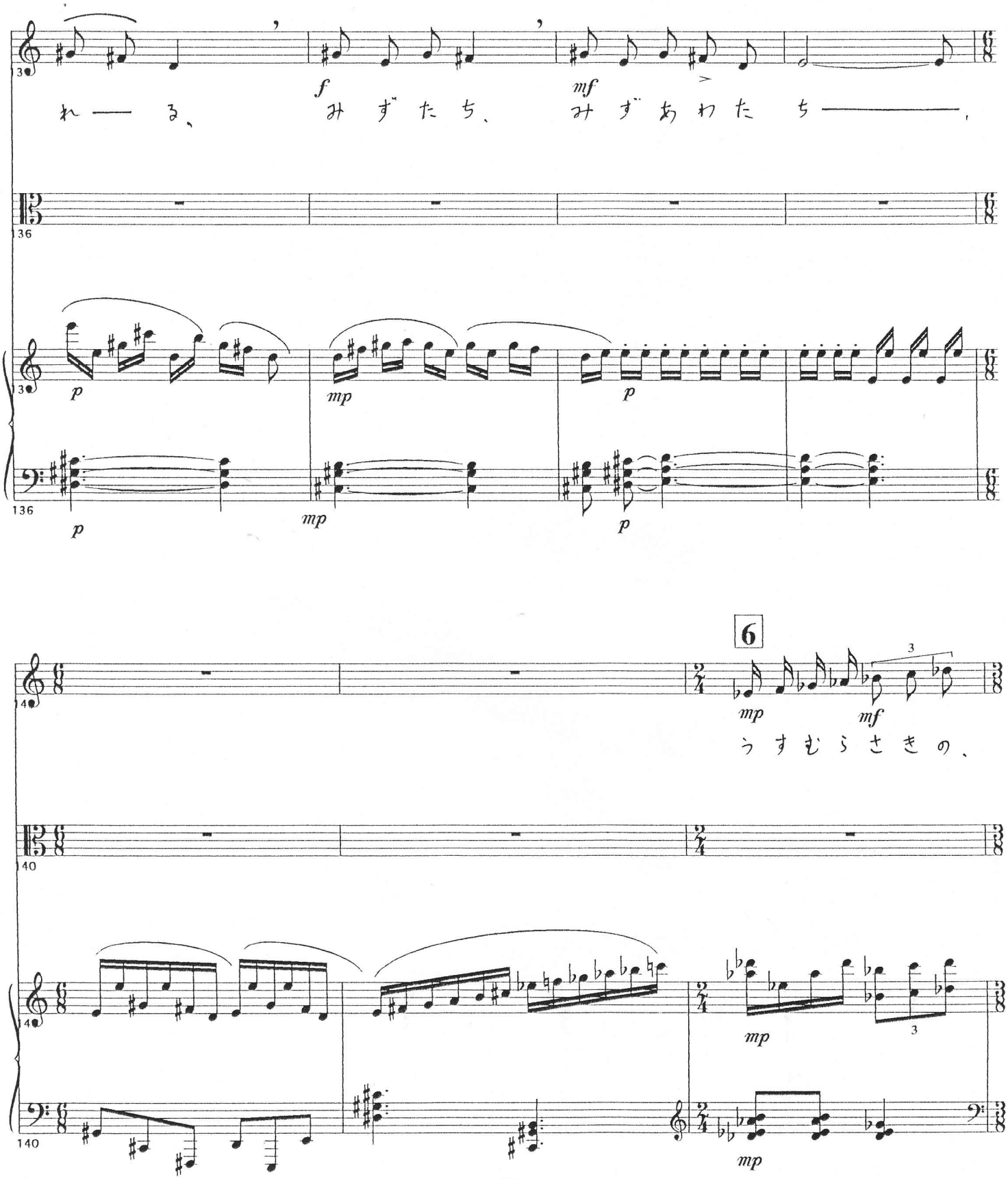
5

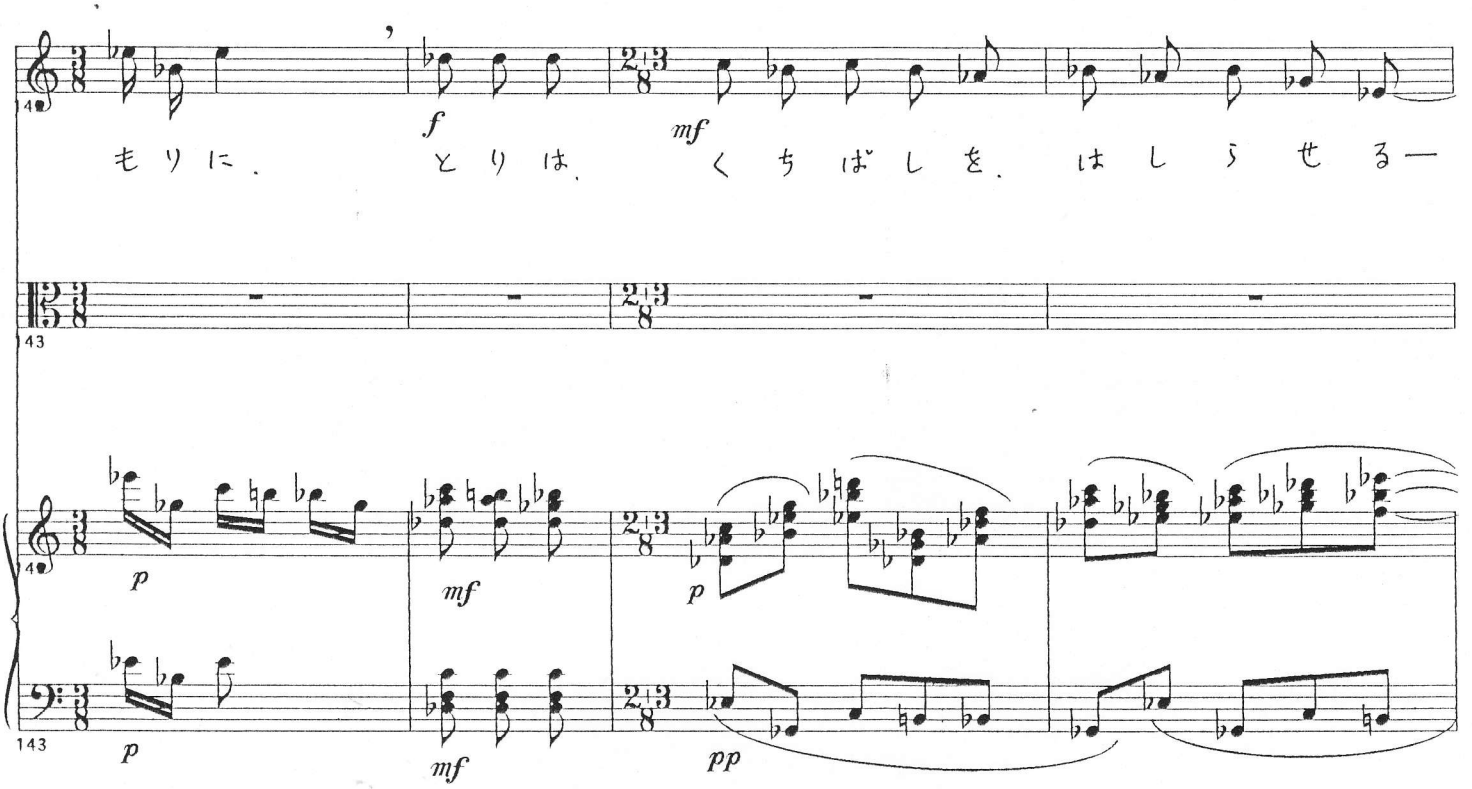


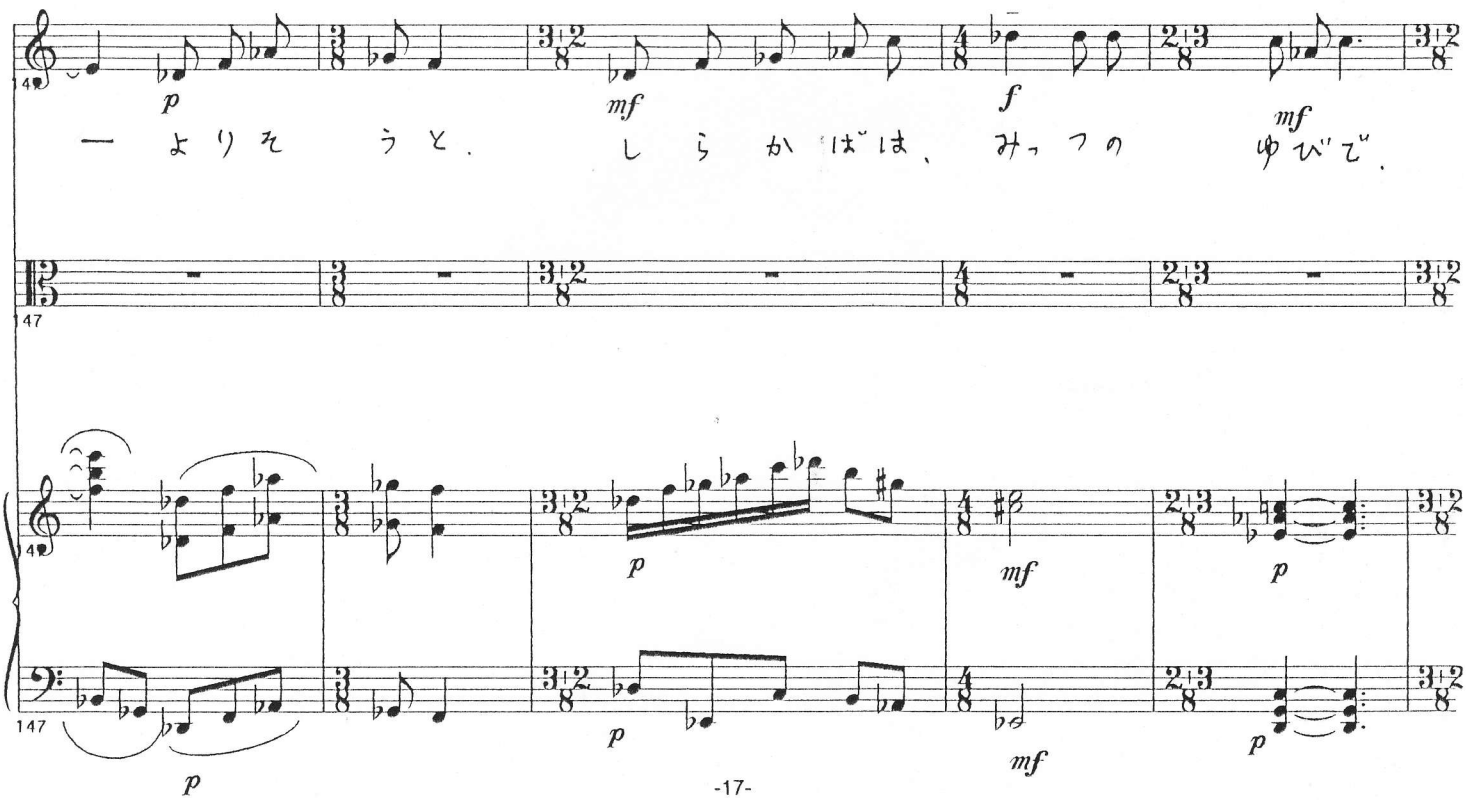
5




5

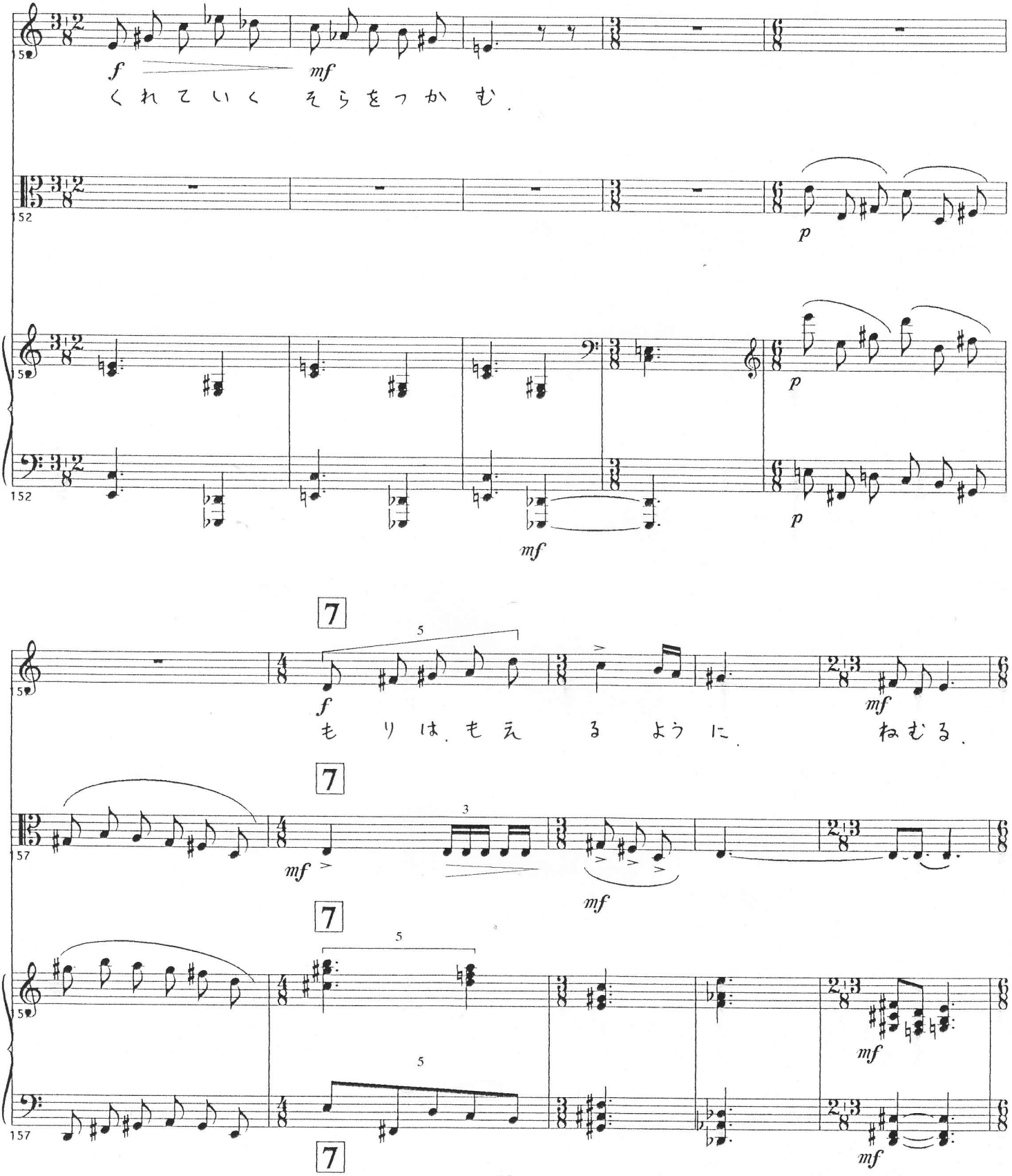

れ——る、
f
みずたち、
mf
みずあわたち——、
136
p
mp
p
136
p
mp
p
6
mp
mf
うすむらさきの、
140
mp
3
mp
140
mp

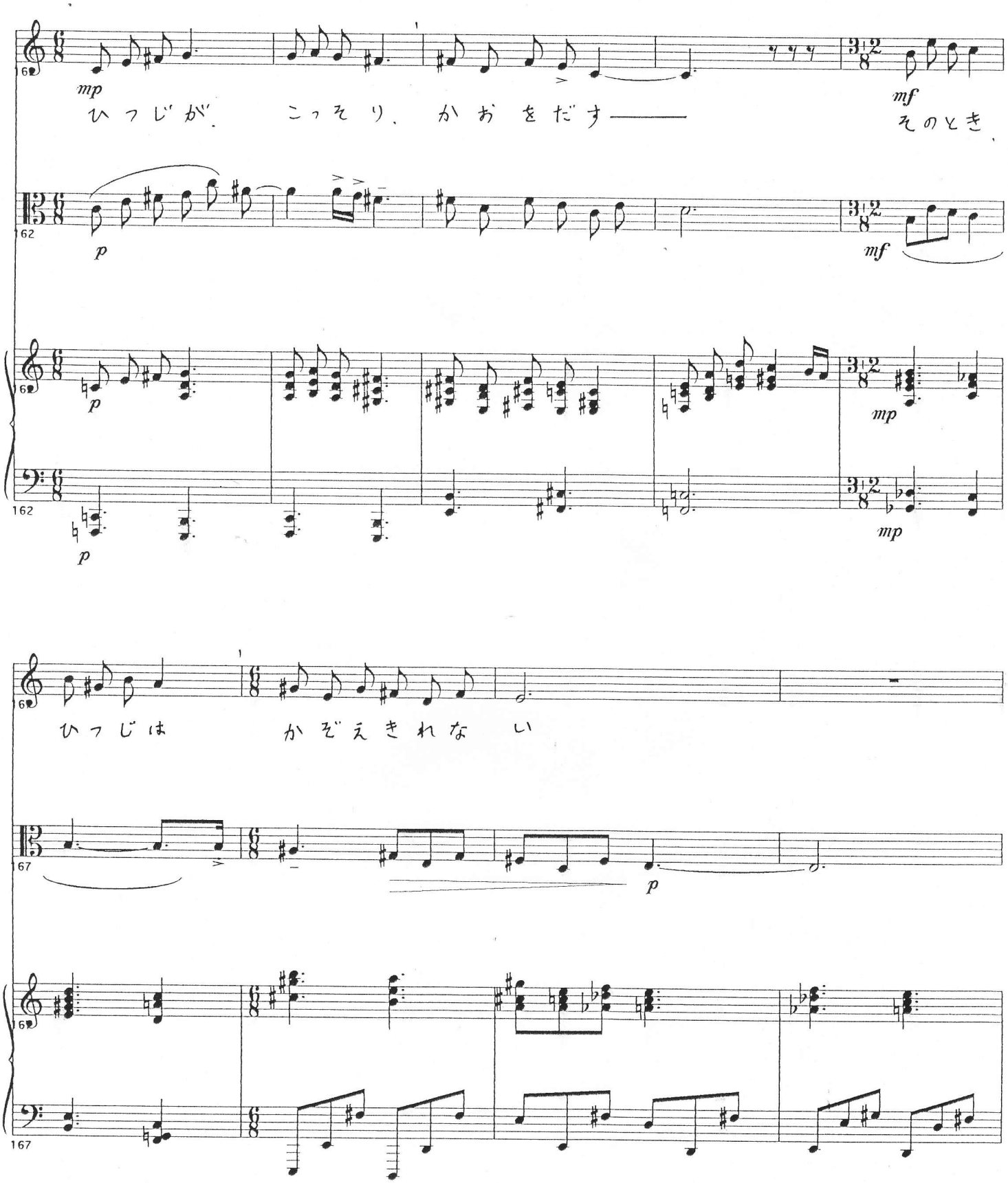


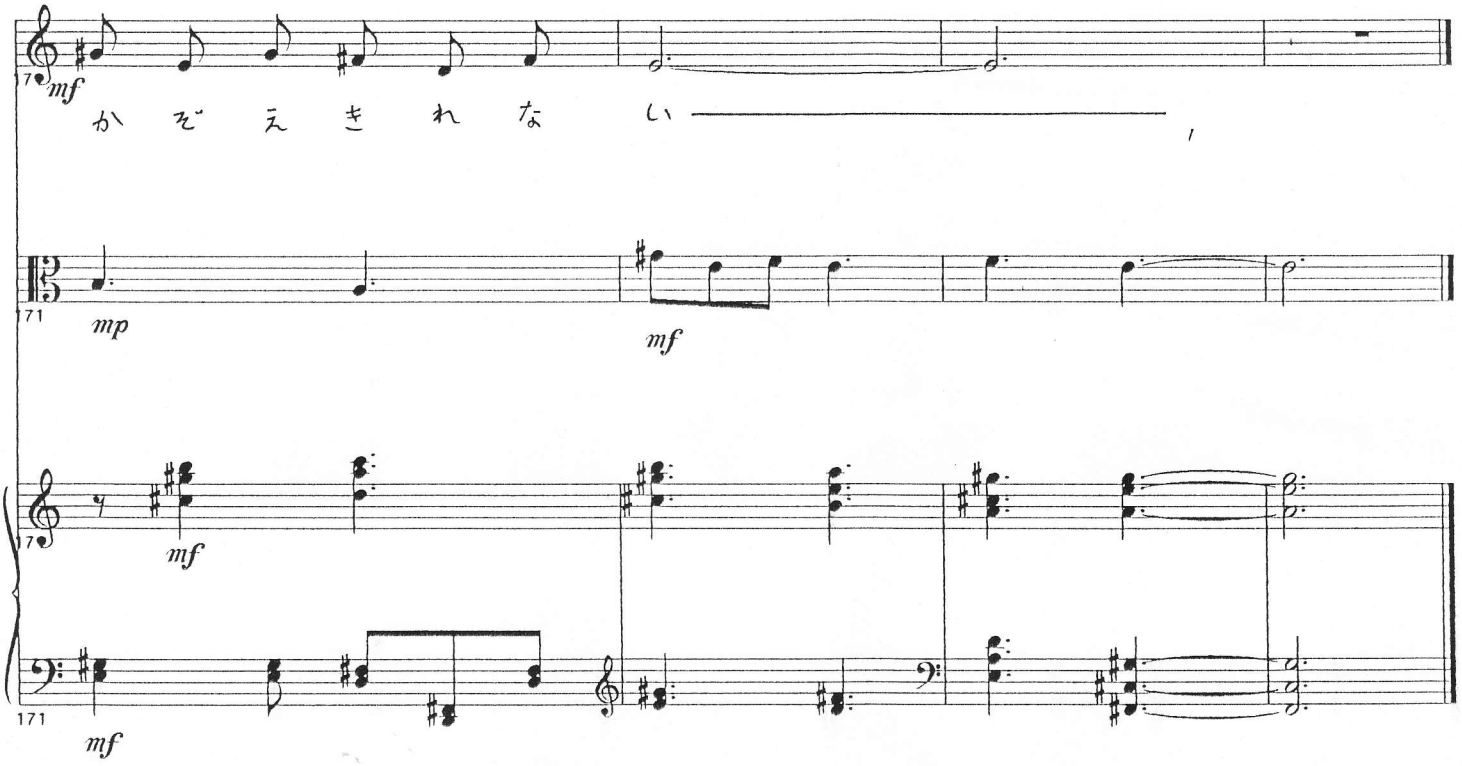


もりに、　とりは、　くちばしを、　はしらせる一

一よりそうと、　しらかばは、　みっつの　ゆびで、


くれていく そらをつかむ.
もりは.もえるように. ねむる.


mp
ひつじが こっそり かおをだす——
mf
そのとき
p
mf
p
mp
p
mp
ひつじは かぞえきれない
p


mf
かぞえきれない
mp
mf
mf
mf